

2.4GHz ポータブルワイヤレスカメラ キット
説明書

目次

各部説明 1・2	2
使用上の注意：1	3
使用上の注意：2	4
機能紹介	5
ワイヤレス受信録画機能	5
メディア再生機能	5
設定機能	5
メモリー記録媒体	5
メモリー対応	5
基本操作	6
I. 電源オン	6
II. 電源オフ	6
III. 充電	6
IV. PC 操作	6
機能についての詳細	7
録画	7
ワイヤレスレシーバーモード	7
ワイヤードビデオモード	7
セットアップ機能	7
メディア再生機能	10
レシーバー容量	14
トラブルシューティング	15
SD カード動作報告（更新：2006 年 10 月）	17

各部説明:1



各部説明:2



使用上の注意：1

ご利用上のヒントを記載致します。ご一読ください。

1. メニュー画面から受信モードに切替えた場合※上記【モード選択スイッチ】受信が乱れる事があります。その際は、受信モードからメニューに切替え、再度受信モードにする
と回復致します。万が一、回復しない場合は電源のオンオフ、リセット等をお試しく
ださい。
2. 万が一、画面がフリーズした場合は【リセットボタン】を押してください。
3. SD カードをご利用の際はあらかじめ SD カードをレコーダー本体にセットし、電源を
オンにしてください。その後、メニュー画面よりセットアップを選択し、ストレージで
MSDC を選択してください。ちなみに本体内蔵のフラッシュメモリーは Nand Flash
になります。
4. 録画は受信モードで REC ボタンを押すと開始します。録画のストップは同じく REC
ボタンを押します。場合によっては録画ストップで REC ボタンを押した後にタイムラ
グ（時間差）があり、2～3 秒で砂時計が現れ、録画ストップとなることがあります。
5. セットアップ内にアップデート項目がありますが、アップデートには対応しておりませ
ん。あらかじめご了承ください。

使用上の注意：2

御使用になる前に、下記をよくお読みください。

こちらの製品は、マイクロプロセッサによってコントロールされています。不適切な操作によって製品にダメージが与えられる可能性もあります。製品の電源をお切りになり、リセットをし、再スタートしてください。

1. こちらの製品を高温、湿気、埃の多い場所や電磁波のある場所でのご使用は避けてください。ご使用最適温度は、0-40度です。
2. 直射日光（車内やビーチのような）下での製品のご使用を避けてください。
3. 受信中の電源供給が不安定になると、記録ファイルのロスが起こる可能性がありますので、ファイルを保存されることをお勧めいたします。ファイルロスに関しての一切の責任は負いかねます。
4. PC 接続の際、ファイルロス、動作不良等を避けるため、本体の操作はやめてください。
5. こちらの製品が小さなお子様のお手に届かない場所に置いてください。また、製品の落下、ダメージを与えないでください。
6. バッテリー爆発によるダメージを避けるため、許可なしにバッテリー交換や穴を開けたり、火の中に入れたりしないで下さい。
7. 製品の分解、修理をしないで下さい。販売元にご連絡ください。
8. 製品の充電量が低下しているサインが出たら、バッテリーを充電してください。録画や再生に障害が起こります。
9. SD カードは、正規に販売されたもののご使用をお勧めいたします。
10. イヤホンご使用の際、音量を高くし長時間お聞きになることを避けてください。
11. この製品のご使用には、付属の電源アダプター、アクセサリをご使用ください。電気ショックや火事を避けるため、製品付属品以外のご使用を避けてください。
12. 濡れた手で電源アダプターに触らないで下さい。感電する恐れがあります。
13. 製品のご使用には、規則を守ってください。

機能紹介

● ワイヤレス受信録画：

A). 2.4GHz z ワイヤレス受信録画：映像、音声録画（CIF,VGA30 フレーム/秒）

B). AV イン：映像、音声録画（CIF,VGA30 フレーム/秒）

● メディアプレーヤー再生：

A). MP3 再生：音声再生形式（MP3,WAV サポート）。

B). ビデオ再生：ネットワークムービーの再生、AVI 形式または、
ビデオ再生：ネットワークムービーの再生、AVI 形式または変換ソフトが組み込まれた AVI
の MPEG-4 をサポート。

再生：320*240@30f/s

C). DCIM 再生：AV 入力、オーディオとマイク入力により録画されたプログラム再生

d) 画像閲覧：多様なカメラまたはパソコンからダウンロードした画像など。EXIF2.1 をサ
ポート。

● セットアップ

時間設定、日付設定、ボタン音声、言語選択、記録媒体選択、画面表示、商標、明るさ、
設定、システム、初期設定、システムのアップグレード設定、自動電源タイマーと初期化
設定。

● 情報

メモリー容量、SD カード、U ディスクの使用領域と本体バージョンの表示。

● 動作メモリー

USB2.0 および USB OTG、HDD をサポート。

基本操作

I. 電源オン

スタートには **POWER** ボタンを押してください。電源ランプがオンの場合、レシーバーのメニューがスタンバイ状態となります。

モードを選択するにはモード選択ボタンを押してください。

ワイヤレス受信モードにするには”**R**”を押してください。

プレイヤーモード（メニュー、再生）にするには”**P**”を押してください。

II. 電源オフ

電源オフにするには **POWER** ボタンを押してください。電源オフメニューとともに画面が消えます。

III. 充電

充電器を電源コンセントに差し込み、受信機の充電ポートに充電器のポートを接続します。そうすると、充電中となります。また、充電はパソコンの **USB** ポートを通しての接続によりなされます。このとき、赤いランプはオンになります。通常、充電時間は約 **5** 時間続きます。電源がオフの状態でも充電されることをお勧めします。

Note: 電源のオン/オフにかかわらず充電は可能です。充電中はランプは赤から緑に変わります。そのときに充電器を抜いてください。初めて充電する際は、電池を作動させるために最低 **10** 時間は充電してください。

IV. PC コミュニケーション

レシーバーを開けて、レシーバーの **USB** ポートに小さい方の先端がつながれている間、パソコンの **USB** ポートにパッケージ付属の **USB** ケーブルの大きい方の先端を接続してください。このとき、パソコンと通信できているかどうか分かるように接続イメージがレシーバーに表示されます。このような状態になったときは、レシーバーのどのボタンも作動しません。

機能についての詳細 (イントロダクション)

録画

ワイヤレスレシーバー機能

- 1) メニューをスタンバイにするには **POWER** ボタンを押してください。メニューとワイヤレス受信モードを切り替えるにはモード選択ボタンを切り替えてください。
- 2) 受信チャンネルを選択するには **CHOICE** ボタンを押してください。
CH1: 2414MHz/ CH2:2432MHz/ CH3:2450MHz/ CH4:2468MHz;
- 3) 録画するには **REC** ボタンを押してください。赤い点がスクリーンに表示されたら録画が始まります。
- 4) 録画を終了する際は **REC** ボタンを押してください。

ワイヤビデオ・モード

- 1) モードを選択するにはモード選択ボタンを **P** にして下さい。
- 2) 録画 (AV 入力) モードにするには “Record” から **AV IN** を選択してください。AV 接続ケーブルでレシーバーの AV 入力ポートに有線カメラを接続します。録画モードにするには **REC** ボタンを押してください。赤い点が画面上に現れると録画を開始します。
- 3) 録画を終了する際は **REC** ボタンを押してください。

セットアップ機能

1. レシーバーをスタンバイメニューにするには **POWER** ボタンを押してください。メインメニューが表示されたら “←/→” ボタンで該当のサブメニューを選択してください。
2. **SETUP** 機能を選択するには “←/→” を押してください。決定には **OK** ボタンを押してください。以下のサブメニューが表示されます。

時間/日付、音声調整の設定、言語選択、記録媒体の選択、画面、ロゴ、明るさ設定、システムのデフォルト設定、システム更新プログラム、自動電源オフ設定、初期化。

3. “Storage” メニューにするには “+” ボタンを押してください。決定には **OK** を押してください。以下の容量がわかります。

ナンドフラッシュ (Nand Flash)、MSDC、U ディスク。

そして必要な記録媒体をチェックするには “+/-” を押してください。決定、またはメニューか

ら出る場合は OK ボタンを押してください。USB でパソコンを接続すれば MSDC とパソコンの間でファイル転送ができます。

Note: 電源が入っているときに SD カードが入っていると、システムは SD カードを既定にします。SD カードが入っていないか、電源を入れた後に SD カードを入れた場合はシステムは Nand Flash を既定にします。

4. “Logo”メニューに切り替えるには “+/-”を押してください。OK ボタンを押すと電源オンの LOGO の画像が表示されます。

5. 日付/時間の設定

a) “Date&Time”メニューに切り替えるには“+/-”を押してください”。OK ボタンを押すと 3 通りのサブメニューが表示されます。日付の初期化、日付設定、そして時間設定です。操作を停止するには ESC ボタンを押してください。

b) “Date Format”メニューに切り替えるには“+/-”ボタンを押してください。“Year/Month/Day”と“Day/Month/Year”の 2 通りの選択があります。決定する際とメニューから出るには“+/-”ボタンを押してください。

c) “Date Setting”のサブメニューに切り替えるには“+/-”を押してください。そして OK ボタンを押してください。カーソルの位置を変更するには“←/→”ボタンを押してください。設定する番号を切り替えるには“+/-”ボタンを押してください。すると作動完了となります。変更が終了したら OK ボタンを押してください。

d) “Date Setting”サブメニューに切り替えるには“+/-”を押してください。そして OK ボタンを押してください。カーソルの位置を変更するには“←/→”ボタンを押してください。設定する番号を切り替えるには“+/-”ボタンを押してください。すると作動完了となります。変更が終了したら OK ボタンを押してください。

6. “Deep”メニューに切り替えるには“+/-”を押してください。明るさを調整するには“←/→”ボタンを押してください。決定またはメニューから出るには OK ボタンを押してください。

7. “Brightness”メニューに切り替えるには“+/-”ボタンを押してください。そして OK ボタンを押してください。決定またはメニューから出るには OK ボタンを押してください。

8. “Format”メニューに切り替えるには“+/-”ボタンを押してください。そして OK ボタンを押してください。そうするとメニューには 3 通りの選択があります。

NandFlash、MSDC、そして U Disk です。該当するオプションを選択するには"+/-" ボタンを押してください。OK を押すと"Yes"か"No"の表示が出ます。選択するには"+/-"ボタンを押して、決定またはメニューから出るには OK ボタンを押してください。正常に作動しない場合は、フォーマットをし、全データを消去して下さい。

Note: 選択した場所の初期化後は、データは消去され、復元は不可能となります。この機能を使用するときは充分にお気をつけください。

9. "Language"メニューに切り替えるには"+/-"ボタンを押してください。そして OK ボタンを押してください。英語か中国語の選択画面になります。どちらかの言語を選択し、決定には OK ボタンを押してください。

10. "Brightness"メニューに切り替えるには"+/-"ボタンを押してください。そして OK ボタンを押してください。電源がオフになっていないままで、1分~5分以上どのボタンも押されていないスタンバイ状態の際、この機能は自動電源オフのための時間設定に使用されます。明るさを調整するには"←/→"ボタンを押してください。決定には OK を押してください。

11."Display"メニューに切り替えるには"+/-"ボタンを押してください。そして OK ボタンを押してください。通常では NTSC を選択して下さい。適切なモードが選択されない限り有効な信号にはなりません。選択したモードにしたら、TV に接続されているかどうかを確認してください。

選択には"↑/↓"ボタンを押し、確認には OK ボタンを押してください。

TV に接続されていれば、TV のスクリーンはレシーバーのスクリーンに変わります。レシーバー上の各動作は TV クリーン上に表示されます。TV に接続されていない場合は、テレビのスクリーンは真っ黒になります。終了するには Display"の"LCD"を選択して下さい。

12. "Update"メニューに切り替えるには"+/-"ボタンを押してください。そして、プログラムをアップデートさせるには OK ボタンを押してください。(アップデートプログラムがあり、USB 接続されている場合)

現在、アップデートは対応しておりません。

13. "Defaults"メニューに切り替えるには"+/-"ボタンを押してください。そして OK ボタンを押してください。"Yes"または"No"を選択して"+/-"を押してください。"No"が選択された場合は現在の設定が保存されます。その際、工場出荷時のデフォルト状態に

修復された場合が選択される可能性があります。しかし、データは変更されていません。

Note:工場出荷時の設定は、システムのデフォルトの言語は英語となります。そして音声はソニックとなります。SD カードが挿入されると SD カードの検出機能はある程度の時間を要するため、SD カードが検出されるまで作動しません。

メディア再生機能

1. レシーバーを起動させてスタンバイメニューに入ってください。メディア再生を選択するには"**←/→**"ボタンを押してください。そして確定には **OK** ボタンを押してください。

2. 記録媒体が"NandFlash"のとき、4 通りの選択があります。MP3、ビデオ、DCIM と PHOTO です。お好みの再生を選び、確定には **OK** を押してください。

3. "MSDC"に記録媒体が設定されたとき、表示されたファイルはメディア再生ブラウザーが確定された後に MSDC に読み込まれたファイルとなります。お好みのオプションを選択し、再生させるためには"**+/-**"ボタンを押してください。確定には **OK** を押してください。

4. 記録媒体が"U-disk"のとき、メディア再生ブラウザーの起動後、U-disk 内でインターフェイスの表示は文書インターフェイスとなります。お好みのオプションを選択し、再生させるためには"**+/-**"ボタンを押してください。

5.

a) オーディオ再生

"MP3"メニューに切り替えるには **OK** ボタンを押してください。お気に入りの音楽を再生、選択するには"**+/-**"ボタンを押してください。再生には **OK** ボタンを押してください。

b) 再生インターフェイスには、ランダム、リピート、再生の 3 通りの選択があります。

"各オプションを選択するには"**←/→**"ボタンを押してください。

"Random"オプションに切り替えて、ランダム演奏を設定する際は"ON"か"OFF"を選んで確定して **OK** ボタンを押してください。

オプション	概要
ランダムがオンの場合	曲が再生された後、リストにある別の曲がランダムに再生されます。
ランダムがオフの場合	曲が再生された後、リストにある次の曲が自動的に再生されます。最後の曲が再生された後は、新しい曲の再生が停止します。

Note: 選択された音楽ドキュメントが破損している場合は飛ばして再生されます。

b) "Repeat"オプションに切り替える場合は、リピート再生機能（選択曲リピート、全リピート、リピートオフ）にするために **OK** ボタンを押してください。

c)

オプション	概要
リピートオフ	曲が再生された後、リストにある次の曲が自動的に再生されます。最後の曲が再生された後、新しい曲の再生が停止します。
選択曲のリピート	選択された曲がリピート再生されます。
全リピート	曲が再生された後、リストにある次の曲が自動的に再生されます。最後の曲が再生された後は、再度、最初の曲から再生されます。

d) "Play"オプションに切り替えるときは、お好みのオプションを選択するには"**←/→**", "**OK**", "**ESC**"ボタンを押してください。

->曲を選択していくには"**←/→**"ボタンを数秒押してください。お好みの曲に切り替えるには"**←**"ボタンを長めに押してください。

次の曲を選択するには"**→**"ボタンを押してください。

->再生中の曲を一時停止するときは **OK** ボタンを押してください。再度再生する場合は **OK** ボタンを再度押してください。

->曲の再生を停止するには"**ESC**"ボタンを押してください。リピート再生をするには **OK** ボタンを押してください。または上のメニューに戻るには"**ESC**"ボタンを押してください。

e) 曲の再生中は、再生中の曲が歌詞ドキュメントに保存されていると、プレイヤーは歌詞ドキュメントを自動読み込みします。

曲の再生は、歌詞が表示されています。MP3 に歌詞が搭載されていない場合は、曲名だけが再生中に表示され、演奏時間が左上に表示されます。

f) 音量を調整するには"+/-"を押してください。"- "を押すと音量は下がり、"+"を押すと上がります。音量を速く調整するには"+/-"ボタンを長く押してください。

6. ビデオ再生

a) "VIDEO"メニューに切り替えるには OK ボタンを押して確定してください。再生するビデオを選択するには"+/-"ボタンを押して再生してください。

b) 再生中に"←"を押すと速く早送りができます。"→"を押すと速く巻き戻しができます。

c) 再生中に"- "を押すと音量が下がり、"+"を押すと音量が上がります。音量を速く調整するには"+/-"ボタンを押してください

。

d) 再生中に停止するには OK ボタンを押してください。再度再生するには、再度 OK ボタンを押してください。前のメニューに戻るには"ESC"を 2 度押してください。

7) DCIM 再生

a) "DCIM 100COACH"メニューに切り替えるには、OK ボタンを押して確定してください。再生されるビデオ/オーディオを選択する

には"+/-"ボタンを押してください。そして OK ボタンを押して再生します。

b) 再生中に"←"を押すと速く早送りができます。"→"を押すと速く巻き戻しができます。

c) 再生中に"- "を押すと音量が下がり、"+"を押すと音量が上がります。音量を速く調整するには"+/-"ボタンを押してください。

d) 再生中に停止するには OK ボタンを押してください。再度再生するには、再度 OK ボタンを押してください。前のメニューに戻るには"ESC"を 2 度押してください。

8. 画像ブラウザ

a) "PHOTO"メニューに切り替えるには、OK を押して画像ブラウザインターフェイスにしてください。お好みの画像を選択するには"+/-"ボタンを押してください。

全画面表示にするには OK ボタンを押してください。

b) 全画面表示中に、画像を閲覧するには"←/→"を押してください。

9. 削除とコピー機能

a) 記録媒体が"Nand Flash"に設定された場合、メディア再生が MP3, VIDEO, DCIIM と PHOTO の 4 通りのオプションがあります。

"MSDC"で設定された場合、メディア再生ブラウザの確定後に表示されたインターフェイスは MSDC ドキュメントのインターフェイスです。

b) メディア再生ブラウザの確定後、お好みのドキュメントまたは再生オプションを選択してください。"Delete, Copy to"など

のコマンドになるように MENU ボタンを押してください。お好みのオプションを選択するには"←/→"を押してください。

c) "Copy to"に切り替えるには、OK ボタンを押してください。"Nand Flash",MSDC", "U-disc"の 3 通りのオプションがあります。

該当するものを選択し、OK ボタンを押してコピーをします。コピーは全共通です。詳細は以下を参考にしてください。

ディスクの状態	コピー能力説明
SD カードなし、U-disk との接続なし	Nand Flash のドキュメントはコピー不可
U-disk と接続	U-disk のドキュメントは Nand Flash にコピーされます。逆の場合も同様です。
SD MSDC を挿入し、U-disk と接続	MSDC のドキュメントは Nand Flash にコピーされます。逆の場合も同様です。
MSDC を挿入 U-disk と接続	SD カードのドキュメントは U-disk と Nand Flash にコピーされます U-disk のドキュメントは SD カードと Nand Flash にコピーされ、ドキュメントは U-disk または SD カードにコ

	ピーされます。
--	---------

Note : SD カードが挿入され、プレイヤーの電源はオンのとき、システムのデフォルトは SD カードになっているか、または SD カードが挿入されていないか、または SD カードの電源が入った後に挿入された場合です。そのとき、システムのデフォルトは Nand Flash になっており、設定が保管場所に蓄積されます。コピーするためにドキュメントが選択された場合、まず設定メニューに場所を設定してください。場所が”Nand Flash”しかない場合、コピーはされません。

- e) “Copy”オプションに切り替えるには、OK ボタンを押して確定してください。オプションには”All, Current, Cancel”の 3 通りがあります。お好みのオプションを選択するには”+/-”ボタンを押してください。”Yes”または”No”のオプションがあります。”Yes”を押すとこのオプションをキャンセルします。”No”を押すと”Cancel”前の状態に戻ります。

オプション	概要
全削除	ディスク内で選択したフォルダに設定したドキュメントを削除
削除	選択中の一つのドキュメントを削除
キャンセルの解除	削除を解除し、前のメニューに戻ります。

Note : 削除後のドキュメントは復元されませんのでこの機能を使用する際はお気をつけください。

レシーバー容量

1. POWER ボタンを押してレシーバーのスタンバイメニューを選んでください。メインメニューを見るには、”←/→”ボタンを押してください。インフォメニューを選択するには OK ボタンを押してください。
2. インフォメニューには、”Nand Flash 容量,カード容量、U-disk 容量、編集”の 4 通りがあります。お好みのオプションにするには”↑/↓”ボタンを押して選択してください。
- 3.

オプション	概要
Nand Flash 容量	プレイヤーの Nand Flash 内にある使用中のリストと残量
MSDC 容量	SD カードの使用中のリストと残量スペース (SD カードが挿入されない限り表示はされません。挿入されてい

	い場合は”Card not in!”が表示されます。
U-dick 容量	U-disk の使用中のリストと残量スペース (U-disk が挿入されない限り表示はされません。挿入されていない場合は”Card not in!”が表示されます。
バージョン	このプレイヤーのファームウェアのバージョン情報

4. 関連のバージョンまたは容量が表示されたら、OK ボタンを押して、操作をやめるには”ESC”を押してください。

付録

通常のオーディオドキュメントは、”写真”フォルダ内の画像ドキュメント、”ビデオフォルダ内の”ビデオドキュメント、”Dcim/100Coach”フォルダ内のオーディオ/ビデオドキュメントと同じように MP3 に直接保存されます。

トラブルシューティング

電源がつかない	<ul style="list-style-type: none"> -電池が切れていないか、充分に残っているかどうか確認してください。 -プログラムが反応していない可能性があります。本体後ろの”RESET”を押してください。 -”POWER”ボタンが作動していない可能性があります。“POWER”ボタンを交換してください。
電源オンの後の自動電源オフ	<ul style="list-style-type: none"> -電池が消耗していて、自動的に切れてしまっている可能性があります。再度充電してください。 -自動電源オフ時間が短時間に設定してある可能性があります。その時間がたつと自動的に電源が切れている可能性があります。電源オン時間を再セットしてください。 -”POWER”ボタンを長く押し続けると、トラブルの原因となりますので”POWER”ボタンは長く押し続けしないでください。
保存したドキュメントが見つからない	<ul style="list-style-type: none"> -SD カードが挿入され電源オンとなった場合は、システムのデフォルトは SD カードになっています。その際、ディスプレイは SD カードからによるもので、メモリーは Nand Flash または U-disc 内に変更されます。よって Nand Flash と U-disk に保存されたドキュメントがあります。 -終了前にトランスミッションがシャットオフされ、保存がさ

	れていない可能性があります。
録画ができない	<p>-ビデオとオーディオケーブルが正しく接続されているか確認してください。もし抜けている場合は、接続しなおしてください。</p> <p>-音声が出力されない場合は、オーディオケーブルの場所を変更してください。</p> <p>-ビデオ録画がオンの場合は電源コンセントと接続することをお勧めします。</p>
音が出ない	<p>-イヤホンが正しく接続されているか確認してください。</p> <p>-音声は“0”になっていないか確認してください。</p> <p>-イヤホンが壊れていないか確認してください。壊れている場合は、新しいものと交換して再度試してください。</p>
雑音が多い	<p>-イヤホンが壊れていないか確認してください。壊れている場合は、交換して再度試してください。</p> <p>-イヤホンとプレイヤーが正しく接続されているか確認してください。</p> <p>-音楽ドキュメントが壊れていないか確認してください。壊れていた場合は新しいドキュメントにして再度試してください。</p>
画面が暗すぎる	<p>-コントラストとバックライトの明るさを変更してください。</p> <p>-悪天候による可能性があります。</p>
電池が速く切れる	<p>-録画と短時間の再生が頻繁に行われていると電気消費量が多くなります。</p> <p>-充電を何度も繰り返すと、電池の容量が減っていき、長持ちしません。新しいものに交換してください。</p> <p>-高温すぎる場所または低温すぎる場所では電池の寿命が短くなる場合があります。</p>
データが移せない	<p>-USB のデータの接続が正しくされているか確認してください。</p> <p>-パソコンの USB ポートが正しく作動しているか確認してください。</p>
ドキュメントが再生できない	<p>-このプレイヤーは全てのオーディオまたはビデオの型番に対応しているわけではありません。対応しているソフトウェアでドキュメントを再生してください。</p> <p>-再生に要求したドキュメントが壊れた場合は、ドキュメント</p>

	またはそのコピーをプレイヤーに送ってください。
接続時に 音声機能が使用できない ビデオ接続ケーブル	-ビデオの位置が正しいか確認してください。黄色はビデオケーブル、赤と白はオーディオケーブルです。これらのケーブルの位置を確認してください。

■SDカード動作報告（更新：2006年10月）

1.推奨SDカード

- アイ・オーデータ SDP-2G、SD-2G
- トランセンド TS2GSD150
- サンディスク SDSDB-2048-J60
- ハギワラシスコム Mシリーズ:HPC-SD2GM2
- パナソニック RP-SDQ02GJ1A
- エレコム MF-FSD02G
- グリーンハウス GH-SDC1GF、GH-SDC2GX

2.エラー報告あり

※本レコーダーに対するエラー（相性）であり、各SDカードの性能の優劣を問うことはありません。

- 東芝 SD-NA002GT、SD-FA001GT
- ハギワラシスコム T-Proシリーズ:HPC-SD1GTP、Tシリーズ:HPC-SD2GT
- バッファロー RSDC-S2G、RSDC-G2G